

令和7年度両城中学校区研究推進計画

校番 20 呉市立港町小学校

校長名 畠藤 晃

1 学校教育目標

「心豊かに 自立する」

2 目指す児童生徒像

- ・ 知識・技能を身に付け，日常生活に活用する子
- ・ 課題解決に向けて，論理的に考え表現する子
- ・ 自他を尊重し，お互いを認め合いながら主体的に学ぶ子

3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資質・能力	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
後期	各教科等において習得すべき知識や学び方・重要な概念（見方・考え方）等を確実に身に付け，日常生活に活用することができる。	日常生活や社会の中から課題を見付け，分析・比較するなどして多面的・多角的に考察することによって解決を図り，根拠を明確にしてまとめ，表現できる。	意欲や志をもって，自らの夢の実現に向けて主体的に挑戦したり探究したりするとともに，自他を尊重し互いの考えや思いを大切に，認め合い支え合いながら協力して取り組むことができる。
中期		日常生活の中から課題を見付け，分析・比較するなどして解決方法を考え，根拠を明確にしてまとめ，表現できる。	自ら目標をもち，主体的に挑戦したり探究したりするとともに，自他を尊重し互いの考えや思いを大切に，認め合いながら協力して取り組むことができる。
前期		身の回りにあるものから自ら課題を見付け，比較したり関係付けたりする活動を通して，考えたことをまとめ，表現できる。	目標に向かって，進んで考えたり行動したりするとともに，お互いの意見を聞き合いながら，仲良く協力して取り組むことができる。

4 研究主題等

(1) 研究主題

自ら進んで学び合い，認め合う児童生徒の育成

～「自ら考え表現する授業づくり」と「自信を育む教育活動の充実」を通して～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区では，平成29年度から「自ら考え表現する子」育成部会と「自他を大切にする子」育成部会の2部会に分かれて研究を進めてきた。令和6年度は各部会で前期，中期，後期に付けた力を明確にし実践しながら，全体研修会や研究授業，学校行事等を計画通り実施することができた。

「自ら考え表現する子」育成部会では、課題発見・解決型学習の「二川授業スタイル」を効果的に行うことで、学力向上に努めてきた。令和6年度は前年度の取組を受けて、「二川授業スタイル」の中でも対話や問いを生かした授業を重点的に行った。その結果、検証の視点①「主体的に学習し学びを深める授業づくりができたか。」の項目では、小中一貫教育の前期・中期・後期の全段階において目標値を上回ることができた。一方、標準学力調査の結果については、達成目標である「全国平均との差+5」を下回った教科・学年があり、中学校区として十分な学力が定着したとは言えない。また、授業に参加できにくい、問題が読み取れないことから低学力の児童生徒が増加している。中学校区全体で、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の育成の両面から学力向上の取組、特別支援の視点での授業づくりを行うことで、令和7年度は更なる学力向上に努める。

「自他を大切にする子」育成部会では、3校共通の活動「縦割り班掃除」、「学校行事（運動会・体育大会・学習発表会・文化活動発表会）」の活動の充実に重点を置き、3校共通のカードで目標設定と振り返り活動を取り入れた。その結果、主体性・自己肯定感・相互理解・自己有用感の全項目において達成目標を大きく上回ることができた。令和7年度は主体性・自己肯定感・共感的人間関係の3つの項目に絞り、研究主題である「自分のよさに気づき、自信をもって行動し、他者を思いやる態度の育成」を目指していく。

令和7年度も引き続き「自ら考え表現する子」育成部会と「自他を大切にする子」育成部会の2部会を編成し、中学校区で共通認識をもって小中一貫教育を進める。「自ら考え表現する子」育成部会では、引き続き各教科の見方・考え方を働かせた思考力・判断力・表現力の育成に取り組んでいくとともに、学力調査・結果分析から個に応じた支援につなげることで、児童生徒に確かな学力を定着させたい。「自他を大切にする子」育成部会では、引き続き仲間と共に主体的に取り組める場を設定していくことで、主体性・自己肯定感・共感的人間関係をさらに高めていきたい。

(3) 各部会の研究主題及び研究仮説

部会名	「自ら考え表現する子」育成部会	「自他を大切にする子」育成部会
研究主題	主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくりを通じた学力の向上	自分のよさに気づき、自信をもって行動し、他者を思いやる態度の育成
研究仮説	「二川授業スタイル」の中で子供の問いや対話が生きる授業を効果的に行えば、児童生徒が主体的に学習し、学力を向上させることができるであろう。	児童生徒が目標達成にむけて自己の役割を明確にし、仲間と共に主体的に取り組める場を設定すれば、自己肯定感を高め、自信を育むことができるであろう。

5 研究内容

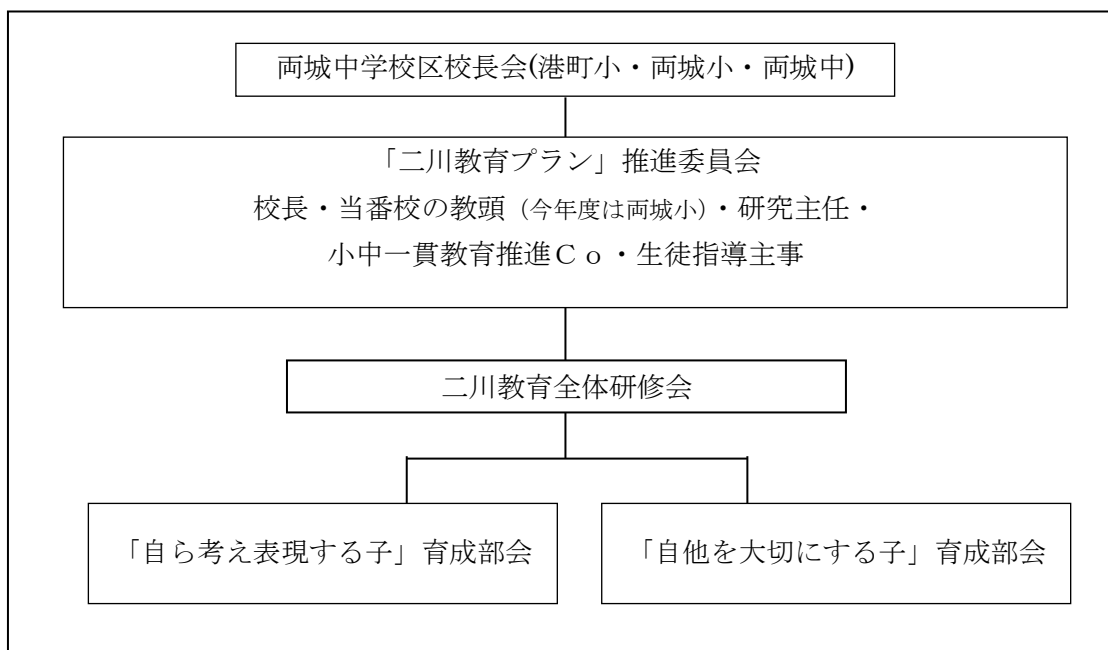
「自ら考え表現する子」 育成部会	「自他を大切にする子」 育成部会
1 各教科・領域における主体的・対話的で深い学びにつながる単元づくり ＜単元を通して付けたい力を明確化し、育成を目指す資質能力を設定し、効果的に「二川授業スタイル」を組み込む。＞ ○ 二川授業スタイルの充実 ・本時のゴールで目指す児童の姿を具体化 ・まとめから逆向きでの授業設計 ・思考を促す発問の工夫 ・問いを生む切り返しやファシリテートの工夫 ・タブレット端末等 I C T の効果的な活用 ・必然性のある対話の場の設定 ・視点のある振り返りの指導 ・特別支援の視点での授業づくり ・各教科の見方・考え方を働かせた授業 2 授業研究会の充実 ○ 二川教育全体会の P D C A サイクル化	1 主体的な活動の推進 ○ 日常的な自主活動の充実 ・縦割り班そうじ ○ 学校行事の充実 ・運動会・体育大会 ・学習発表会・文化活動発表会 2 小中連携活動の充実 ○ いじめ撲滅キャンペーン ○ 二川クリーン活動（5年・7年） ○ 陸上教室（5年・6年・陸上部）
チャレンジプラン (1) 地域貢献プロジェクト ○ カリキュラムマップの実践及び改善 ・総合的な学習の時間等，呉市や二川地区のよさを発見し，発信する。また，地域と協働し，課題解決に取り組む。 ○ 小学校同学年同士の取組の検討・改善 (2) 地域防災プロジェクト ○ 地域や中学校区で協働した防災への取組 (3) 進学プロジェクト ○ 6年生同士の交流（両城小体育館での体育科・オープンスクールでの体験授業）	

6 検証について

検証の視点	方法	検証の指標	現状値	達成目標
① 主体的に学習し学びを深める授業づくりができたか。	授業観察シート	研究授業における教職員の相互評価値の平均（4段階評価）	+ 3. 5	3 以上
② 自己肯定感や他者を思いやる態度が育成できたか。	児童生徒アンケート	児童生徒の肯定的評価	9 7. 3 %	8 5 % 以上
	児童生徒の記述	自己の変容 他者からの学び	—	活動の前と後の自己の変容
③ 児童生徒の学力が向上したか。	標準学力調査	全国平均との差	+ 3. 5	+ 5

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業等 (中→小, 小→中)

(中→小)

小学校6学年 教科は未定 (2学期実施)

(小→中)

なし

イ 小学校教科担任制等

なし

8 推進計画

月 日	内容		
	港町小	両城小	両城中
4月17日(木)	「二川教育プラン」推進委員会 (16:00～) ○令和7年度 推進計画について ○第1回二川教育全体研修会に係る打合せ		
5月 2日(金)	第1回 二川教育全体研修会 (15:30～) ○本年度の方向性について確認 → 「二川教育プラン」推進委員会 (16:30～)		
6月	○地域防災プロジェクト 両城中学校生徒会による防災ワークショップ (両城小・港町小) ○いじめ撲滅キャンペーン (小中合同あいさつ運動)		
6月20日(金)	第2回 二川教育全体研修会 (両城中 2年社会科) 講師 東広島市立入野小学校 校長 竹野 政彦 様		
6月～7月	授業研究 (1年道徳科)	授業研究 (4年算数科) 6月25日	授業研究 (2年国語科)
7月 1日(火)	児童生徒アンケート検証実施 ※ <u>7月11日(金)</u> までに当番校に結果報告		

7月31日(木)	第3回 二川教育全体研修会 (15:00～) ○取組内容の中間報告及び交流、今後の取組内容の確認 「自ら考え表現する子」育成部会 推進委員会 (全国学力・学習状況調査の課題と改善計画について確認) → 「二川教育プラン」推進委員会 (16:30～)		
10月 7日(火)	第4回 二川教育全体研修会(港町小3年算数科)〔学びの変革〕		
10月20日(月) 10月21日(火)	三校合同陸上練習(マリンパーク・両城中学校) (16:00～)		
10月17日(金) 10月23日(木)	両城中から両城小6年へ乗り入れ授業 外国語科(午後) 両城中から港町小6年へ乗り入れ授業 外国語科(午前)		
10月28日(火)	○進学プロジェクト 6年生同士の交流(両城小体育館での体育科)		
10月～11月	地域公開(10/23)	地域公開(10/17)	地域公開(/)
11月	いじめ撲滅キャンペーン(小中合同あいさつ運動)		
11月～12月		授業研究(6年算数科) 〔学びの変革〕11月7日	授業研究(年 科) 〔学びの変革〕
11月25日(火)	二川クリーン活動(5年生・7年生)		
11月30日(日)	二川ロードレース大会		
12月中	児童生徒アンケート・標準学力調査 ※1月中に当番校に結果報告 →2月9日までに当番校より各校に結果報告をし、次回の推進委員会までに各校で分析を行う。		
1月30日(金)	第5回 二川教育全体研修会(両城小2年算数科)		
1月～2月	授業研究(6年)		授業研究(年 科)
2月 4日(水)	両城中学校オープンスクール 午後		
3月 2日(月)	第6回 二川教育全体研修会 (15:30～) ○本年度の成果と課題、来年度の方向性について協議 → 「二川教育プラン」推進委員会 (16:30～)		
3月19日(木)	「二川教育プラン」推進委員会 (16:00～) ○令和8年度 推進計画について		

9 その他

(1) 3校校長会

「二川教育プラン」推進に係る協議

(2) 小中一貫教育「二川教育プラン」推進委員会

ア 「二川教育プラン」推進計画等立案

イ 小中合同研修会、小中合同行事等の計画推進

ウ 各部会の成果と課題の分析

エ 地域・保護者への情報発信(「小中一貫だより」発行 年3回)

担当 1学期:両城中(7月) 2学期:両城小(12月) 3学期:港町小(3月)

(3) 各校の養護教諭・体育主任・道德教育推進教師同士の連携

※ 研究構想図、カリキュラムマップを添付する。